

- 問1 千葉県地形や交通について述べた文として、太平洋側に位置する九十九里浜の地形的特徴と、県内の主要な施設の位置関係を正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 太平洋側には複雑な入り江を持つリアス海岸が発達しており、その周辺に成田国際空港や千葉港などの大規模施設が集中している。

2. 九十九里浜は、東京湾アクアラインが通過する東京湾側の沿岸部に位置し、大規模な工業地帯を形成している。

3. 太平洋側には砂が堆積して形成された単調な砂浜海岸が広がり、その内陸側の下総台地には成田国際空港が位置している。

4. 九十九里浜は大規模な干拓によって作られた農地であり、成田国際空港から南へ下った房総半島の先端部に位置している。
- 問2 日本の高度経済成長期以降に開発されたニュータウンが現在直面している、人口構成に関する課題と変化について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. すべての年齢層がバランスよく増加し続けているため、年少人口の減少や学校の統廃合といった問題は一切発生していない。

2. ニュータウンの住宅はすべて賃貸物件であるため、住民の入れ替わりが非常に激しく、高齢化が全く進行しないという特徴がある。

3. 開発当初から現在に至るまで、ニュータウンの住民は独身の若年層が中心であり、人口構成に大きな変化は見られない。

4. 一斉に入居した世代が同時に高齢者となることで高齢化率が急上昇する一方で、再開発により特定の若い世代が流入し、人口構成が動的に変化している。
- 問3 関東地方の北西部に位置する内陸県で、県庁所在地を前橋市に置く県はどこですか。この県は東京都から埼玉県を経て長野県へと向かう北陸新幹線の沿線にあり、交通の要所となっています。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 山梨県

2. 栃木県

3. 群馬県

4. 茨城県
- 問4 関東地方の農業産出額において、野菜の占める割合が約4割と非常に高い水準にある理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 平野部が少ないため、限られた土地でも収益性を高めることができる畜産業を縮小し、野菜栽培に特化したため。

2. 中央高地の涼しい気候を利用して、他の地域では野菜が不足する夏から秋にかけての出荷を行っているため。

3. 干拓地や大規模な土地改良区を整備することで、付加価値の高いブランド米の生産を優先しているため。

4. 東京などの大都市圏という巨大な消費地が近くにあり、輸送時間を短縮して鮮度の良い農産物を届けられるため。
- 問5 関東地方の各県を比較した統計データにおいて、千葉県は「飲食料品の小売販売額」では神奈川県や埼玉県を下回るものの、「化学工業製品出荷額」ではこれらの県を大きく上回り、突出した数値を示す特徴があります。このような結果になる理由として、最も適切な説明はどれか。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
1. 千葉県は成田国際空港を通じた貿易額が多いため、内陸部の工場で生産された化学製品の出荷額が統計上、他県よりも多く計上されるため。

2. 飲食料品の販売額は人口規模に比例する傾向があるが、千葉県は東京湾岸に石油化学コンビナートが集中する京葉工業地域を有しているため。

3. 神奈川県や埼玉県は製造業からサービス業への転換が進んだ一方で、千葉県は県内全域で伝統的な重工業の維持を最優先する政策をとっているため。

4. 千葉県は近郊農業が盛んであることから、農産物を原料としたバイオテクノロジー産業が化学工業製品として分類され、出荷額を押し上げているため。
- 問6 日本の空港利用に関する統計において、成田国際空港と東京国際空港（羽田）の合計旅客数が一億二千万人を超えているという事実は、日本の社会においてどのような規模感であると言えますか。最も適切なものを選びなさい。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
1. 日本の総人口に匹敵するほどの極めて大きな規模であり、東京圏が世界的な交通の拠点であることを示している。

2. 旅客数よりも貨物取扱量の方が重要視される日本の航空業界において、例外的に旅客数が多い事例である。

3. 成田国際空港の旅客数が東京国際空港を圧倒しているため、千葉県が日本最大の航空交通の拠点となっている。

4. 2つの空港を合わせても一億人に到達しておらず、アジアの他の主要都市のハブ空港に比べると規模は小さい。
- 問7 千葉県の産業構造について、製造品出荷額と野菜産出額の双方が高い水準にある背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 東京に近いという立地を活かした大規模な工業地域と、大消費地向けの農作物の生産が両立しているため

2. 冷涼な気候を活かした工場の冷却水確保と、寒冷地特有の野菜生産が全国的に評価されているため

3. 海外輸出に特化した巨大な港湾施設により、原材料の加工貿易と農産物の海外出荷が産業の柱となっているため

4. 県全域が山がちな地形で平地が少ないため、限られた土地を工業と農業で効率的に分け合っているため
- 問8 冬の関東平野において、北西から吹く季節風が非常に乾燥している理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
1. 関東山地の標高が低いため、海からの湿った空気が入ってこないため。

2. 太平洋の上空を通過する際に、黒潮の影響で水分が蒸発してしまうため。

3. 日本海を渡る際に蓄えた水分が、山脈を越える際に雪や雨として落ちるため。

4. シベリア大陸から吹いてくる風が、海を一切通らずに直接関東へ届くため。
- 問9 群馬県沼田市や茨城県坂東市といった地域は、高速道路網を利用して東京都の大田市場などの大消費地へ農産物を出荷する農業が盛んです。これらの地域を流域に含み、灌漑用水として関東平野の農業を支えている、日本最大の流域面積を誇る河川はどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
1. 利根川

2. 多摩川

3. 木曽川

4. 荒川
- 問10 関東地方の東京都や埼玉県、千葉県などに広がる台地の表面を厚く覆っている土壌について説明します。この土壌は、富士山や箱根山などの噴火によって飛来した火山灰が長い年月をかけて降り積もってきたもので、酸化鉄の影響で赤色を呈しています。このような土壌を何と呼びますか。 (2026年 福島県公立入試 類似)
1. まさ土

2. シラス

3. 泥炭

4. 関東ローム
- 問11 日本の産業統計において、工業出荷額が約13兆円規模であり、印刷業や輸送用機械が一定の割合を占める県の産業構造について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この県は農業も盛んで、米の産出額は新潟県には及ばないものの、長野県などの野菜生産が盛んな県と同様に、高い農業産出額を維持しています。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
1. 内陸部に位置する利点を生かし、輸送用機械の製造に特化しており、農業は東京都への供給を目的とした野菜栽培に限定されている。

2. 京葉工業地域の一角を担う工業の発展とともに、都市近郊農業や稲作などの農業がバランスよく発達している。

3. 工業出荷額のほとんどを化学工業が占めており、農業は米の単一栽培のみが行われている。

4. 印刷業の出荷額が全国1位であり、米の産出額も新潟県を上回って日本最大の農業県となっている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 太平洋側には砂が堆積して形成された単調な砂浜海岸が広がり、その内陸側の下総台地には成田国際空港が位置している。	千葉県は東側である太平洋沿岸には、砂が堆積してできた九十九里浜（砂浜海岸）が広がっています。その北西方向の内陸にあたる下総台地には成田国際空港が建設されました。東京湾側は、京葉工業地域などの埋め立て地や東京湾アクアラインが位置するエリアであり、九十九里浜のある太平洋側とは地形的・産業的な特徴が異なります。
問2	答え 4 一斉に入居した世代が同時に高齢者となることで高齢化率が急上昇する一方で、再開発により特定の若い世代が流入し、人口構成が動的に変化している。	多くのニュータウンは短期間に集中的に開発されたため、同時期に入居した世代が揃って高齢期を迎えることで、一般的に地域よりも急速に高齢化が進む傾向にあります。しかし、近年では利便性の高いエリアを中心に住宅の更新が進み、かつての子供世代や新たな世帯が流入することで、人口構成に新しい変化が生まれています。このように、ニュータウンは単に衰退するだけでなく、場所によっては人口の若返りや構成の変化を伴いながら存続しているのが実情です。
問3	答え 3 群馬県	関東地方には海に面していない「内陸県」がいくつか存在しますが、その中で最も北西に位置するのが群馬県です。東京都から見て、北側に位置する埼玉県の際に北西に隣接しており、北陸新幹線や上越新幹線が通る高崎駅などを擁しています。また、県庁所在地は前橋市です。
問4	答え 4 東京などの大都市圏という巨大な消費地が近くにあり、輸送時間を短縮して鮮度の良い農産物を届けられるため。	関東地方の農業の最大の特徴は、大都市に近い立地条件を最大限に活用している点にあります。野菜は鮮度が落ちやすく、長距離輸送にはコストや品質管理の難しさが伴いますが、近郊農業であれば収穫後すぐに市場へ出荷できるため、米や畜産を抑えて野菜が産出額の主軸となっています。
問5	答え 2 飲食物品の販売額は人口規模に比例する傾向があるが、千葉県は東京湾岸に石油化学コンビナートが集中する京葉工業地域を有しているため。	飲食物品の小売販売額は、その地域の消費市場の大きさ（人口規模）に比例するため、人口の多い神奈川県や埼玉県が千葉県を上回ります。一方で、工業面では千葉県の東京湾岸に京葉工業地域が形成されており、国内最大級の石油化学コンビナートが集積していることから、化学工業製品の出荷額が関東地方の中で際立って高いという産業構造上の特色が生じています。
問6	答え 1 日本の総人口に匹敵するほどの極めて大きな規模であり、東京圏が世界的な交通の拠点であることを示している。	成田と羽田を合わせた年間旅客数の一億二千万人という数字は、日本の総人口（約1億2,600万人）に迫る非常に大きな規模です。これは東京圏が世界的に見ても極めて高い航空需要を持つ都市圏であることを裏付けています。東京国際空港（約8,000万人）の方が成田国際空港（約4,000万人）よりも旅客数自体は多くなっています。
問7	答え 1 東京に近いという立地を活かした大規模な工業地域と、大消費地向けの農作物の生産が両立しているため	千葉県は、東京湾沿いの埋立地を利用した京葉工業地域で化学や鉄鋼などの製造業が発達する一方、内陸の平坦な土地では東京という巨大市場に向けた野菜作り（近郊農業）が盛んになりました。この「大都市への近さ」という地理的要因が、工業と農業の両方の発展を支える共通の背景となっています。千葉県は全国的に見ても平地が多い県であり、気候も温暖です。
問8	答え 3 日本海を渡る際に蓄えた水分が、山脈を越える際に雪や雨として落ちるため。	冬の北西の季節風は、日本海を渡る際に水蒸気を蓄えますが、本州中央部の高い山脈を越えるときに強制的に上昇させられ、冷却されることで日本海側に雪や雨を降らせます。山を越えて関東平野に吹き下ろすときには水分をほとんど含んでいない状態になるため、晴天が多く乾燥した気候をもたらします。この仕組みは地理の因果関係を理解する上で非常に重要です。
問9	答え 1 利根川	関東地方北部の沼田市や東部の坂東市などは、高速道路（関越自動車道や常磐自動車道など）の整備により、大都市圏へ新鮮な野菜を届ける近郊農業や輸送園芸農業が発達しています。これらの農業生産を支える広大な水系が利根川であり、その流域面積は日本の国土の約4.5%を占めるほど巨大です。
問10	答え 4 関東ローム	関東地方の台地で見られる赤色の土層は「関東ローム」と呼ばれます。これは数十万年前から続く火山活動（主に富士山や箱根山）によって噴出された火山灰が、偏西風に乗って運ばれ、地表に堆積して形成されたものです。九州南部の火山灰台地を作る「シラス」や、中国地方などで見られる花こう岩が風化した「まさ土」と区別して覚える必要があります。
問11	答え 2 京葉工業地域の一角を担う工業の発展とともに、都市近郊農業や稲作などの農業がバランスよく発達している。	千葉県は、東京湾沿いの京葉工業地域での鉄鋼・化学・印刷などの重化学工業や製造業が盛んであると同時に、平坦な土地と温暖な気候を利用した農業も非常に盛んです。米の生産だけでなく、キャベツやネギ、落花生などの野菜生産においても全国トップクラスの産出額を誇っており、工業と農業の両輪で経済が成り立っているのが特徴です。